

Ⅶ. 觀客誘致基本計画

1. 基本的考え方

花や緑に関心の高い各ターゲットはもとより、幅広い誘致圏やターゲットに対し観客誘致方策を検討し、展開する。

- ・愛知県内、他県や海外など誘致圏の設定により、愛知県の地域資源、観光資源を活用した観客誘致方針（プロモーション）や交通を活用した観客誘致方針等を検討し、展開する。
- ・マスコミが着目するような話題性のある行催事の実施等に力点を置き、ロコミ等による草の根的広報宣伝が展開されることを目指す。
- ・広報活動は、それらが単なる式典やフェア周知にとどまるのではなく、「緑のチカラ」を活用した PR 戦略により、緑の良さを感じてもらえる広報の展開を図る。
- ・あいちフェア事業自体が都市の緑づくりに直接繋がり、緑の効果が体感できる工夫を凝らし、愛知全体の緑づくりの気運が高まるような戦略的広報を立案する。

観客誘致圏

- ・あいちフェアの観客誘致圏は大きく、県内及び近隣県と関西圏及び首都圏を想定した県外からの観客誘致を想定する。
- ・また、海外の友好提携地域についても観客誘致を検討する。

表VII-1 フェア開催期間中の行催事のテーマと協働対象(例)

エリア		考え方	対象
県内		愛知県全市町村	愛知県全市町村
県外	近隣県	中部圏知事会議参加県	富山県、石川県、福井県、長野県、岐阜県、静岡県、三重県、滋賀県
	関西圏及び首都圏	東京都、大阪府及び各圏域の政令指定都市	首都圏：東京都、さいたま市、千葉市、横浜市、川崎市、相模原市、新潟市 中部圏：静岡市、浜松市、(名古屋市) 関西圏：京都市、大阪市、堺市、神戸市
	海外	友好提携地域	ビクトリア州(オーストラリア) 江蘇州(中国)

観客誘致ターゲット

- あいちフェアの観客誘致ターゲットは、花や緑への関心が高い愛好家はもとより、幅広い県民と県外からの観光客等をターゲットとする。
- また、特に平日には、企業の研修の場、各種学校の環境教育、体験学習の場としての活用、老人会や各種カルチャースクールの発表の場など組織的活用ニーズのある団体ターゲットとし、それら団体利用のニーズに応じていくことを検討する。

表VII-2 誘致ターゲット

大区分	区分	対象
一般来場者	県民	花や緑の愛好家
		小中学生等
		高校・大学生
		ファミリー層
		中高年
	障害者等	
	県外	観光客
団体来場者	企業・NPO等、生産者、海外	研修・視察等
	各種学校	環境学習・体験学習
	老人会・自治会	発表の場、親睦の場等としての活用
	習い事関係等	発表の場としての活用

2. ターゲット別誘客方針

ターゲットのニーズに応じた誘客方針を検討し、フェアの内容をターゲットのニーズに応えうる内容とする。

- ・ターゲットのニーズを把握した上で、基本的な各種広報ツール(ポスター、パンフレット、チラシ等)を有効活用し、あいちフェア単独の広報宣伝に限らず、県や市町村の関連行事やイベント等と連携した誘致活動を展開する。

広告媒体を有効活用したプロモーション

- ・WEB・SNS 等では若者や情報感度の高い県民向けに編集した内容を発信し、会場周辺エリアの自治会、各種学校・教育機関との連携、障害施設団体や老人ホーム等へは紙媒体で、それぞれにニーズに応じた情報を編集して伝えるなど、ターゲット別に積極的できめ細かい情報提供と来場促進を検討する。

地域資源を活用したプロモーション

- ・地域資源を有効に活用し、観光地として県内外に認知されている、「城」、「武将」、「動植物園」、「歴史ある街並み」、「紅葉」、また名古屋めし等に代表される郷土の食文化等の地域資源を活用した観光プロモーションの展開を検討する。
- ・特に県内外の観光関係者とのタイアップで、団体や個人旅行の獲得に向けたプロモーションを展開する。例えば、旅行会社の愛知県内ツアー企画チラシ等へのフェア情報の掲載等の連携により誘致活動の展開を検討する。

交通アクセスにおけるプロモーション

- ・道路交通利用者に対して、メイン会場へのアクセス道路沿いの道路、道の駅等において、あいちフェアの魅力を高めるプロモーション展開を検討する。
- ・公共交通機関利用者に対して、リニモを中心とした駅及び駅前の中心市街地等において、あいちフェアの魅力を高めるプロモーション展開を検討する。

2-1. 一般来場者

- ・県民や県外観光客のニーズに応じたフェアの内容と広報宣伝の実施を検討する。

表VII-3 一般来場者の誘客方針

区分	対象	ニーズ	誘客方針
県民	花や緑の愛好家	新技術・新種等の情報獲得	<ul style="list-style-type: none"> ・各種広報ツールや新規情報のニュース的発信 ・花と緑の専門雑誌や女性向け雑誌との連携し、誘致促進を展開する。 ・県内の花緑の小売店と連携し、フェア開催告知やフェアへの参加意欲を高め、誘致促進を展開する。
	小中学生等	学習の場、学校行事	<ul style="list-style-type: none"> ・体験を中心とした子供向け催事の協働開催等と連携し、誘致促進を展開する。
	高校・大学生	ボランティア・体験共有（共感）への興味 就職活動	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生・大学生によるあいちフェア取材チームの結成を検討する。プレイベントや準備中の出来事、フェア期間中の出来事を独自に取材。HP や SNS、ツイッター、Facebook 等で発信を展開する。
	ファミリー層	家族の思い出づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・子供が参加できる遊び・イベントの実施や写真撮影サービス、記念品づくりとお土産化等の体験催事と連携した誘致促進を図る。
	中高年	社会貢献 生活に役立つ情報の獲得、健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・プレイベント等の「緑・花体験教室」への参加、フェア期間中の魅力的な体験教室、気軽に参加できるスポーツイベント等の催事と連携した誘致促進を図る。 ・各種市民講座、カルチャースクールサークル等への情報発信とグループ単位での誘致を図る。 ・回覧板等によるあいちフェアの平日行催事の案内等を行う。
	障害者等	学習・体験の場、社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者等の魅力的な「参加の場」の設定を通じて、来場訴求力を高める。
県外	県内観光客	普段愛知県内で体験できない体験	<ul style="list-style-type: none"> ・県内各地の主要なお祭り等の際に公式キャラクター（モリゾー・キッコロ）、あいち戦国姫隊、NPO との協働による体験教室等のキャンペーンキャラバン隊を結成し、PR に努める。 ・リニモ各駅・車両等におけるあいちフェア行催事のお知らせ、配布等を行う。
	県外観光客	愛知の観光資源への興味	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県の地域資源の魅力紹介と連携した観光プロモーションを展開し誘致を図る。 ・旅行会社の愛知県内ツアー企画チラシ等へのフェア情報の掲載等の連携により誘致活動を展開する。 ・県外の主要なお祭り等の際にあいち緑化フェアキャラバン（県外版）のゲスト出演依頼とあいちフェアの PR を行う。

2-2. 団体来場者

- ・企業の研修の場、各種学校の環境教育、体験学習の場としての活用、老人会や各種カルチャースクールの発表の場など組織的活用ニーズに応じたフェアの内容と広報宣伝の実施を検討する。

表VII-4 団体来場者の誘客方針

対象	ニーズ	誘客方針
企業・NPO 等	研修・視察等	<ul style="list-style-type: none"> ・企業や NPO 等の興味を引く、講習プログラムやシンポジウム等の企画・開催を検討する。 ・企業向けボランティアの募集、ボランティアの異業種体験などを通して、あいちフェアを研修の場として活用を検討する。
生産者等		<ul style="list-style-type: none"> ・新技術や新品種に関する講座や講演会などの企画・開催を検討する。
海外		<ul style="list-style-type: none"> ・ビクトリア州(オーストラリア)、江蘇州(中国)との姉妹提携35周年企画との連携を検討する。 ・愛知の花弁・緑化産業等を中心とした研修プログラムや講習会の企画・開催を検討する。
各種学校	環境学習・体験学習	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園連盟、保育園連盟等を通じ、園行事(遠足・課外学習等)としての誘致を図る。 ・県下教育委員会、校長会等に協力を依頼し、学校行事(校外学習等)としての誘致を図る。 ・子供会、各種スポーツクラブ等の団体への情報発信、誘致を図る。
老人会・自治会	発表の場、親睦の場等としての活用	<ul style="list-style-type: none"> ・発表の場、親睦の場としての活用を積極的にアピールするとともに、これら団体の活用ニーズを把握し、運営面等に反映する。
習い事関係等	発表の場としての活用	<ul style="list-style-type: none"> ・発表の場としての活用を積極的にアピールするとともに、これら団体の活用ニーズを把握し、運営面等に反映する。

3. 広報宣伝基本計画

広報宣伝は、話題性のある行催事の実施等に力点を置き、口コミ等による草の根的広報宣伝が展開されることを目指す。

3-1. 広報宣伝の区分

・あいちフェアの広報宣伝については、次のような区分で行うことを検討する。

表VII-5 広報宣伝の区分と協働方針(例)

区 分	内 容	
	主催者実施	協働・参加
ビジュアル・アイデンティティ事業	・フェア愛称の公募、シンボルマーク、マスコットキャラクターやロゴタイプ等の制作と活用、グッズの製作 等	—
キャンペーン活動事業	・イベントと連携したキャラバン活動による周知 等	・イベントの協働運営 等
ツール製作事業	・時期(愛称等の募集作成時期・イベント等)に応じたポスター、花鉢、チラシ、パンフレット等の制作と配布 ・会場チラシ、案内図の制作と配布 等	・ボランティアによるポスター、チラシ配布大作戦の実施 等
パブリシティ(情報発信)事業	・実行委員会内におけるパブリシティ(情報発信)部門の設立(方針の検討・ニュースソースの創出等) ・マスメディアやミニコミ、専門雑誌、専門紙等への情報伝達と出稿 ・「あいちフェア広報局」の立ち上げと運用 等	・高校生・大学生によるあいちフェア取材チームの結成 等
WEB・SNS 活用事業	・公式ホームページ制作・公式ツイッター、公式 Facebook の立ち上げ ・モリゾー・キッコロのキャラクターによるブログ更新 ・フェアニュースレター等の発行 等	・協働企業・NPO等のHP、ツイッター、Facebook へのリンク推奨 ・高校生・大学生によるあいちフェア取材チームによるHP、ツイッター、Facebook への投稿 等
公的広報事業	・愛知県や県下市町村等の公的広報(広報紙、広報番組等)を活用した広報 等	—
媒体(メディア)活用事業	・準備期、イベント、開催期間中のイベント等の情報発信による、テレビ、ラジオ、雑誌等でのニュース発信 等	—
公式記録作成事業	・あいちフェアの公式記録制作 等	—

3-2. 広報宣伝事業の計画内容

① ビジュアル・アイデンティティ事業

・ビジュアル・アイデンティティ事業は、次のような区分で行うことを検討する。

表VII-5 ビジュアル・アイデンティティ事業(例)

種別	展開イメージ
フェア愛称	<ul style="list-style-type: none"> ・あいちフェアの認知を高めるため、「あいちフェア」にふさわしく、親しみやすい愛称を公募する。 ・公募と愛称の決定をセレモニー化し、ニュースとして発信する。
シンボルマーク等	<ul style="list-style-type: none"> ・シンボルマークは事務局が制作する。 ・あいちフェアの認知を高め、決定後の各種ツール等に幅広く使用しやすい、シンボルマークを検討する。 ・愛知万博当時のテーマソングの使用及び、あいちフェア用のテーマソングの作成を検討する。
マスコットキャラクター	<ul style="list-style-type: none"> ・マスコットキャラクターは「モリゾー・キッコロ」に花や緑を幅広くあしらった、あいちフェアバージョンとする。 ・マスコットキャラクターは、決定後の各種ツール等に幅広く使用する。 ・新しい着ぐるみは作成せず、愛知万博からのものを使用するが、あいちフェアバージョンの小物を作成し、活用する。
ロゴタイプ	<ul style="list-style-type: none"> ・公募・決定された愛称に合わせた適切な公式名称のロゴタイプを制作する。 ・シンボルマーク、マスコットキャラクター、ロゴタイプ等を組み合わせたデザインガイドマニュアルを制作する。 ・デザインガイドマニュアルは、実行委員会が発行する全てのツール等への利用のほか、実行委員会を構成する各団体、企業等に幅広く活用を働きかける。
グッズの制作	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知万博でも好評であった、「モリゾー・キッコロ」のぬいぐるみやピンバッチなどのあいちフェアバージョンのグッズを製作し、販売する。 ・グッズは、実行委員会の構成団体や企業、県庁及び市町村等の官公庁の窓口に設置し、フェアのPRに活用する。 ・グッズは、事業協力を呼びかける相手への無償配布のほか、企業等に有償での販売を働きかける等、店頭でのPR協力を依頼する。 ・グッズは、キャンペーン活動の開始にあわせて製作する。

緑化特別大使の任命

・あいちフェアのマスコットキャラクターである「モリゾー・キッコロ」を緑化特別大使として任命する。



② キャンペーン活動事業

- ・誘客ターゲットに応じたキャンペーン活動の展開を検討する。
- ・キャンペーン活動は、あいちフェアをキャラバン隊を組織し、イベントや地域の祭りや催しもの、既存の活動組織等と連携したキャンペーン活動の展開を検討する。

表VII-6 あいちフェアキャラバン隊の概要(例)

キャラバン隊主要メンバー例	協働メンバー例	活動例
モリゾー・キッコロ (マスコットキャラクター) あいち戦国姫隊等	<ul style="list-style-type: none"> ・花育教室等 ・NPO の体験教室開催者 ・花卉生産者 ・小中学生 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャラバン隊は実行委員会の立ち上げから、解散まで、サテライト会場や主要なふれあい拠点をはじめ、県内市町村、誘致圏である近隣自治体等を訪問し、あいちフェアの PR と緑化活動の推進 PR を行う。 ・これらキャラバン隊の活動は、ニュースソースとして、マスメディアへの情報提供及び WEB、SNS 等での情報発信を行う。

表VII-7 キャンペーン活動(例)

ターゲット	活動区分	キャンペーン活動例
一般来場者	県民向けの既存イベントとの連携キャンペーン	<ul style="list-style-type: none"> ・主要な観光地や地域の祭り、食のイベント等の機会に、キャラバン隊が訪問し、花の種付チラシを配布する。 ・イベントの日本縦断花車リレー等と連携して、主要ポイントで合流し、あいちフェア広報イベントを実施する。 ・県内外の観光関係者へ、キャラバン隊の訪問とともに、花の種付チラシの配布を依頼する。
	交通機関を利用する県民向けのキャンペーン	<ul style="list-style-type: none"> ・メイン会場へのアクセス道路沿いの道路、道の駅等へのキャラバン隊の訪問とともに、花の種付チラシを配布する。 ・リニモを中心とした公共交通機関の駅及び中心市街地等にキャラバン隊が訪問し、花の種付チラシを配布する。
	県外観光客等向け	<ul style="list-style-type: none"> ・県外の主要なお祭り、友好提携地域のイベントの際にキャラバン隊が訪問し、あいちフェアを PR する。
団体来場者	各種学校等の団体来場者向けキャンペーン	<ul style="list-style-type: none"> ・各種学校・教育機関、障害施設団体や老人ホームなど幅広い団体をキャラバン隊が訪問し、花の種付チラシを届ける。 ・花の種付チラシから育った花を、メイン会場に持ってきってもらうと、学校花壇等への植え込みが可能になり、「舞台づくり」プログラムに参加できるなどの連携を検討する。
	既存の活動組織等との連携キャンペーン	<ul style="list-style-type: none"> ・公園マネジメント会議や主要な NPO 等に対して、花の種付チラシの配布を依頼する。 ・活動団体の催しの際にキャラバン隊が訪問するなどの連携を図る。

表VII-8 プレイメントとの連携(例)

プレイメントの実施例	概要		展開場所
	主催者開催	協働開催事との連携を検討	
日本縦断花車リレー	<ul style="list-style-type: none"> ・プレイメントのメインプログラムとして、県内各地を、カウントダウンボードを積んだ花車が縦断する。 ・フェア開催1年前に開始、1年にわたり、サテライト会場及び主要なふらあひ拠点など、県内各地を巡る。 ・あいちフェアキャラバン隊と連携して、主要ポイントで合流し、イベントを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・花車を引くメンバーは、県民に広く募集をかけて、数時間程度の交代制で行う。 	<p>全県</p>
一年前イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・日本縦断花車リレー出発式 ・あいちフェア開催に向けた1年前宣言等 ・あいちフェアキャラバン隊によるイベント開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽隊パレード、コンサート ・花育教室等、NPOの体験教室等 	<p>メイン会場、サテライト会場等</p>

③ ツール製作事業

- ・時期やターゲットに応じた各種製作ツールで統一感を持ちながら、キャンペーン活動や、イベントと連動した各種ツールの制作を検討する。
- ・広報ボランティアを募り、あいちフェアのポスターの配布依頼、チラシ配布大作戦の実施を検討する。

表VII-9 ツール制作事業(例)

種別	内容
ポスターの製作	<ul style="list-style-type: none"> ・フェアのイメージや内容を伝達するポスターを、準備をスケジュールに応じて3回程度制作する。 ・第0号ポスターは、実行委員会発足にあわせて制作する。 ・第1号ポスター以降は、事業内容を具体的に伝達する内容やイベントの実施、特典等を紹介する内容等、情報発信の内容に応じて制作する。 ・ポスターは、実行委員会の構成団体や企業、県庁及び市町村等の官公庁、学校等に掲出を依頼するほか、生産者、NPO、商店街や自治会等関係者から一般へと拡充し、広範囲な掲出を行う。
パンフレットの製作	<ul style="list-style-type: none"> ・フェアについて、関係者への詳細情報を提供するために、準備スケジュールに応じて制作する。 ・リーフレットは、協賛等の勧奨やイベントの実施時期、その他具体的な計画内容を紹介することが可能な時期にあわせて制作する。
花鉢セールスの花鉢製作	<ul style="list-style-type: none"> ・協賛企業の募集や都市緑化の推進を兼ね、民間事業者に協力を求める際に、花鉢等に協賛募集のメッセージを沿えて贈る。 ・花鉢の作成は、花卉生産者と小中学校の生徒によって再制作されるなどの交流事業の一環とすることを検討する。
チラシ及び花の種付チラシの製作	<ul style="list-style-type: none"> ・フェアについて、募集情報や見どころ情報等を提供するために、準備スケジュールに応じて3回程度制作する。 ・第0号チラシは、実行委員会発足にあわせて制作する。 ・第1号チラシは、出展や催事等の県民参加を勧奨する際のフェア事業が伝達できる内容のチラシを制作する。 ・フェア周知のための広告として、チラシの一つとして開催案内をパッケージに印刷した「花の種付チラシ」を作成し・配布する。 ・チラシ及び「花の種付チラシ」は、実行委員会の構成団体や企業、県庁及び市町村等の官公庁等に配布するほか、各種学校・教育機関、障害施設団体や老人ホーム、NPO、商店街や自治会等関係者から一般へと拡充し、広範囲な配布を行う。また、キャンペーン活動と連動して、街頭での配布等も実施する。
会場リーフレット(案内図)	<ul style="list-style-type: none"> ・会期中の来場者向けの会場案内、催事情報、交通アクセス情報等をはじめ、植栽情報等をコンパクトに分かりやすくまとめた、「会場ガイド&マップ」を作成する。 ・発行は開催直前、印刷は情報修正などを考慮し、2回に分けて刷り分ける。

④ パブリシティ(情報発信)事業

- ・実行委員会内におけるパブリシティ(情報発信)部門を設立し、情報発信方針の検討・ニュースソースの創出計画の策定などの役割を担うことを検討する。

表VII-10 パブリシティ(情報発信)事業(例)

種別	内容
情報発信の計画作成	<ul style="list-style-type: none"> ・あいちフェアの準備段階から会期直前、会期中までの各種トピックスをニュースリリース等にまとめ、タイムリーにマスメディアへ情報発信し、記事掲載及びテレビ等でのニュース放映の露出を図る。 ・発表方法は、県政記者クラブにおける記者会見や資料配布を軸として、個別配布等あらゆる情報発信手段と機会を駆使して展開する。 ・対象マスコミは、県内メディア(一般紙、テレビ、雑誌、ミニコミ、フリーペーパーなど)をメインに県外の一般紙、女性誌、情報誌、旅行誌、花卉園芸誌、各種業界専門雑誌、ウェブサイト等を広く展開する。 ・県外メディア、特に近隣県、関西圏及び首都圏向けのメディアへのアプローチを行うパブリシティ活動にも留意し、パブリシティの切り口としては、愛知万博 10 周年、愛知の名物料理、武将観光等のマスコミ受けする情報の展開策を検討する。
「あいちフェア広報局」の立ち上げ	<ul style="list-style-type: none"> ・愛・地球博記念公園周辺には、大学が多いことから、「あいちフェア広報局」の元に、高校生・大学生のボランティアによる「あいちフェア取材チーム」を結成し、日々のあいちフェア準備や各種イベントの開催情報等をツイッター、Facebook、LINE 等で、報告、拡散してもらうことを検討する。

⑤ WEB・SNS 活用事業

- ・あいちフェアのホームページを早い時期に立ち上げ、最新情報の随時更新、情報の共有化とネットワーク化を図ることを検討する。
- ・コンテンツは、開催基本情報(会場、時期、開催テーマ等)をはじめ、準備状況や募集情報、交通アクセス、周辺ガイド情報、スタッフブログ等を盛り込み、関係者をはじめネットユーザーなどとのネットワーク化を図り、口コミ情報の核とすることを検討する。
- ・WEB の他、ツイッター、Facebook、LINE 等の SNS でも情報を発信し、協働する企業や NPO 等、生産者団体等との相互リンクを推進することを検討する。
- ・高校生・大学生のボランティアによる「あいちフェア取材チーム」の投稿ページを設定し、日々新鮮な情報提供を図ることを検討する。

⑥ 公的広報事業

- ・愛知県及び各市町村の広報媒体(広報誌、広報番組等)を最大限活用し、県民への周知を図ることを検討する。
- ・あいちフェアの開催告知から、開催終了に至るまで、各種イベントやニュースリリースを継続的に実施し、継続的に情報露出ができるように、依頼、展開することを検討する。
- ・特に対象自治体内のサテライトや協賛会場へのキャンペーン活動についての掲載を依頼することを検討する。
- ・パブリシティ(情報発信)部門の情報発信の計画に基づき、マスコミ向けニュースリリースやニュースレターとの連動を図ることを検討する。

⑦ 媒体(メディア)活用事業

- ・基本的に、あいちフェアの準備段階から会期直前、会期中までの各種トピックスをニュースリリース等にまとめ、タイムリーにマスメディアへ情報発信し、記事掲載及びテレビ等でのニュース放映の露出を図ることとし、新聞広告、テレビ、ラジオにおけるCM等は実施しないものとする。

⑧ 公式記録作成事業

- ・あいちフェアの開催状況と成果を公式記録集として、とりまとめ、制作する。
- ・公式記録集は、実行委員会構成団体や企業をはじめ、参加・協賛いただいた団体や企業等へ配布する。

4. 広報における協働の展開

キャンペーンの展開や情報発信など、様々な機会を捉えて、NPO 等との連携やボランティアの活用を図る。

- 広報は基本的に、話題性のある行催事の実施等に力点を置き、口コミ等による草の根的広報宣伝が展開されることを目指すことから、NPO 等やボランティアとの協働が重要となる。
- 主要な宣伝担当、情報発信担当、情報媒体担当、公式記録担当が中心となって、スタッフとボランティアによって、広報の企画・実施をすすめることを検討する。

5. 事業スケジュールの検討

・観客誘致に関する事業は以下のように推進することを検討する。

表VII-11 観客誘致スケジュール検討(案)

時期	主な業務等
平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局による誘致・広報活動(公的広報事業) ・観客誘致・広報宣伝実施計画の策定 ・愛称募集 ・シンボルマーク、ロゴの作成 ・愛称、シンボルマーク、ロゴの発表 ・愛称、シンボルマーク、ロゴ等の使用基準、マニュアルの作成等
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局による誘致・広報活動(公的広報事業) ・観客誘致・広報宣伝実施運営 ・あいちフェアホームページの開設 ・SNS 活用による広報 ・協働による広報「あいちフェア取材チーム」による広報開始 ・あいちフェアキャラバン隊活動及びイベントの実施 ・公式グッズの企画、制作、販売 ・公式グッズの発表 等
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局による誘致・広報活動(公的広報事業) ・観客誘致・広報宣伝実施運営 ・あいちフェアキャラバン隊活動及びイベントの実施 ・SNS 活用による広報 ・協働による広報「あいちフェア取材チーム」による広報 ・あいちフェアキャラバン隊活動及びイベントの実施 ・公式グッズの制作、販売 ・フェア期間中のホームページ、SNS 等による情報発信 ・公式記録の作成 等